

報道機関 各位

平成17年3月4日  
国立大学法人 広島大学  
情報化推進部情報企画課長

## 本学教授の逮捕について

昨日、本学教授が逮捕されたことに関して、下記のとおり、記者会見を行います のでお知らせいたします。

### 記

日時： 3月4日(金)午前10時から  
場所： 広島大学原爆放射線医科学研究所 会議室(1階)  
広島市南区霞1-2-3  
出席者： 神谷研二 原爆放射線医科学研究所長

### 【お問い合わせ先】

広島大学情報化推進部情報企画グループ 村上  
TEL 082-424-6017

[発信枚数;A4版 3枚(本票含む)]

○[記者会見での配付資料](#)

## ◆関連病院数

30件(県内:24 県外:6)  
 国公立病院 7件(県内: 5 県外:2)  
 私立病院 23件(県内:19 県外:4)  
 ※平成17年3月4日現在

## ◆関連病院への派遣医師数

69名(県内:56 県外:13) ※平成17年3月4日現在

## ◆診療内容

日本癌治療学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本乳癌学会および日本 バイオセラピー学会などに所属され、約40年にわたり臨床腫瘍学、消化器外科学、腫瘍免疫学に傾注される。消化器癌に対する手術療法や化学療法を基盤に、再発 癌に対する免疫療法などの開発的医療や、終末期医療など、トータルとして臨床 腫瘍外科学において研鑽を重ねてこられた。その間、長年手掛けられた癌に対する細胞治療「活性化自己リンパ球移入療法」は、1996年、他施設に先駆けて広島大学で高度先進医療に認可された。2001年には日本癌治療学会を主催され、日本における癌化学療法の標準化の道しるべを示された。2003年より外来化学療法室を外来に設置され、外来化学療法の充実に着手、また、2004年よりセカンドオピニオン外来を設け、みずから数多くの癌の相談に応じてこられた。

## ◆高度先進医療「癌に対する活性化自己リンパ球移入療法」

患者よりリンパ球を分離・採取して、試験管内で培養、活性化して、癌細胞を殺す能力をさずけ、再び体内に移入する治療方法。末梢血リンパ球や腫瘍浸潤リンパ球を用いる方法がある。広島大学において癌性胸・腹水に対する臨床応用が日本ではじめて高度先進医療として認可された。

## ◆研究業績

広島大学ホームページ (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-i.html>)

└──左端メニュー欄「研究・産学連携」

└── 「■研究者総覧」

↓

峠哲哉教授を検索

↓

【著書・発表論文】

## ◆表彰

特になし

## ◆峠哲哉教授 経歴

年月日	事項
昭和 44.3.25	広島大学医学部医学科卒業
44.4.1	広島市武市病院勤務
44.6.17	医師免許証下付(医籍登録番号第203797号)
45.3.31	広島市武市病院勤務

	45.4.1	広島大学医学部附属病院臨床研修医
	46.4.1	広島大学医学部附属病院医員(研修医)
	46.6.1	広島大学医学部附属病院医員
	47.4.30	同上退職
	47.5.1	広島赤十字病院勤務
	47.7.31	同上退職
	48.8.1	広島大学医学部附属病院医員
	49.5.31	同上退職
	49.6.1	文部教官広島大学助手原爆放射能医学研究所
	51.9.30	医学博士(広島大学)
	55.4.1	広島大学助手医学部附属病院
	55.5.16	広島大学講師医学部附属病院
平成	1.10.16	広島大学教授原爆放射能医学研究所
	8.4.1	広島大学原爆放射能医学研究所長に併任(～平成9年3月31日)
	16.4.1	広島大学病院内分泌代謝診療科長に併任(～平成18年3月31日)